

議 長 日程第14「報告第3号有限会社みやまの里の経営状況について」を議題とします。

本件も報告事件でありますので、担当課長の報告を求めます。

観光経済課長 それでは、報告第3号有限会社みやまの里の経営状況について報告をさせていただきます。

1枚おめくりいただきまして、1ページ目をお願いいたします。有限会社みやまの里の概要につつまして記載をしてございます。番号の3を見ていただきますと、同社、平成8年4月1日に成立をされております。

4番で、資本金については50万でございます。町長ほか14名の方が出資者となられております。町は資本金の60%、半分を超える100株中の60株ということで、300万円の出資をしてございます。

6番、役員につつましては、代表取締役、大館一郎さんほか3名の方となっております。

7番、役員、社員の給与等は、以下に記載されておりますので、後ほど御高覧ください。

おめくりいただきまして、2ページ目を御覧ください。こちらにつつましては、同社の総会資料でございます。令和3年度の事業報告書に基づきまして、主な事業を報告させていただきます。4月1日に施設利用者の抽選会から始まりまして、みやま運動広場、管理センター、テニスコートの草刈り、清掃など、維持管理を定期的に行っております。5月29日の第25期通常総会をはじめ、社員会議並びに報告会につつましては、コロナ禍となってから最少とし、業務報告や事業進行管理を行っていただいております。昨年に続きですね、新型コロナの感染症の影響として、例年御協力頂いております5月の若葉まつり、こちらが中止となりましたが、令和4年の1月にはですね、ロウバイまつりを開催し、大勢の方の来園を頂いております。

続きまして、横の3ページを御覧ください。令和3年度におけます各種施設の利用人数であります。それぞれの施設につつまして、月別の利用回数、利用人数、また一番下のほうの下段ですね、年間の合計数で、ちょっと枠下で、ま

た最下段には前年度の実績、こちらを記載してございます。令和2年度と3年度の比較をいたしますと、利用者においては、管理センターが14%、グラウンドで73%、テニスコート13%、全ての施設において令和2年度よりは増加の傾向とはなっております。ただし、コロナ前と比較をいたしますと、特にですね、管理センター、宿泊の件でございまして、大変厳しい結果となっております。要因としては、コロナの感染の拡大によりですね、団体の施設利用や宿泊予定がキャンセルされてしまったということが大きいと分析をされております。ただ、テニスコートだけはですね、昨年に引き続き好調というか、増加傾向にございます。

おめくりいただきまして、4ページ目を御覧ください。損益計算書になります。初めに、左上のほうからですね、売上高です。寄自然休養村管理センターの利用料金、こちらについては117万5,902円、グラウンド、テニスコート等で242万4,638円の収入がありまして、売上の総利益としましては、360万540円、これが合計金額となっております。前年度との比較で、全体的に増えた部分もありますよということの中では、114万3,720円、これが増となっております。

次に、販売費及び一般管理費でございます。445万7,794円で、こちらについては右側の5ページ目、こちらにですね、その内訳が記載されております。役員の報酬から保険料まで、それぞれの費目ごとに支出した経費となっております。

4ページにお戻りいただきまして、売上総利益から販売費及び一般管理費を除きました営業利益、こちらは利益というか、マイナスになっておりますけれども、85万7,250円のマイナスとなりました。また、営業外収益としましては、受取利息、雑収入、町の委託金、町の委託金としては指定管理委託料になりますけれども、これを合算いたしますと、営業外の収益として合計81万134円となっております。

この結果、経常利益としては差引きマイナス4万7,120円となっております。したがって、経常利益マイナスとですね、法人税を合算したマイナス11万7,137円、これが当期の純利益ということになります。

令和2年度の当期純利益から落ち込んだものに関しては、この国の、前年度はですね、国の持続化給付金等がありました。こういったものが令和3年度にはなかった部分が大きい状況でございます。

いずれにいたしましても、コロナ禍前と比較すると、売上状況が厳しいということをお願いいたします。

1枚おめくりいただきまして、6ページを御覧ください。貸借対照表でございます。左が資産の部、右が負債の部で御説明をさせていただきます。資産の部の流動資産666万8,348円につきましては、記載のとおり現金と預金で、またあと未収金として5万7,140円、これの合計でございます。左側の最下段、資産の部の合計につきましては、666万8,348円となります。

次に、右側の負債の部でございます。流動負債として27万9,616円になります。内訳は、未払金、預かり金、未払法人税等となり、負債の部の合計で27万9,616円になります。

続きまして、下段の純資産の部の株主資本638万8,732円につきましては、下段の資本金500万円ですね、と利益剰余金を合算した金額となっております。

右側の7ページの監査報告書を御覧ください。監査につきましては、令和4年5月18日に実施されました。事業報告書、損益計算書、貸借対照表等と会計帳簿を照合し、適正に処理された旨、鍵和田毅志監査役から御報告を頂いております。

おめくりいただきまして、8ページ目をお願いいたします。令和4年度、本年度の事業計画となります。寄地区の発展の一環として、自然休養村管理センターをはじめとする各施設の管理運営及び観光案内等を通じ、利用者の拡大とサービスの向上に努め、感染症対策に配慮しつつ、効率的な事業運営を展開していくことと計画をされております。

なお、指定管理期間については、平成30年度の4月からいただき、5か年でございますので、本年度末、令和5年3月31日までとなります。

続きまして9ページ目でございますが、令和4年度の予算となります。前年度予算と今年度予算の比較の計算となっております。令和4年度の予算額は

574万9,000円でございます。主な予算額の変更といたしましては、先ほどコロナ禍による利用者の減少の状況、こういったものを加味しまして、中でも少し好調に推移しているものというのは増やしたいと、こういうことでの整理をされているところでございます。

以上でみやまの里の経営状況についての報告とさせていただきます。御審議のほどお願いいたします。

議 長 担当課長の報告が終わりました。これより質疑に入ります。

(「なし」の声あり)

特にございませんか。質疑なしと認めます。以上で報告を終わります。